

2025年3月期 決算説明会資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2025. 6. 9〉

INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

新中期3ヶ年経営計画「Transformation 2027」のもと、これからの100年に向かって経営基盤を更に強化すべく、「ものづくり」を軸とした改革を推進

京都工場モータ生産棟が竣工

- － モータ内製化と最新加工設備で生産効率の大幅向上を図る －

ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.(以下、ZENIT社)の完全子会社化

【配当】

第2四半期末に「ZENIT社株式の100%取得(完全子会社化)」を記念し、中間配当で2円、期末に「京都工場のモータ生産棟竣工」を記念し、期末配当で2円、年間では記念配当として4円増配

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	前年度比	2026年3月期 通期予想
■ 売上高	626億円	680億円	+54億円	710億円
■ 営業利益	89億円	102億円	+13億円	104億円
■ 経常利益	126億円	104億円	△22億円	108億円
親会社株主に帰属する ■ 当期純利益	82億円	87億円	+5億円	76億円

※通期業績予想には2024年7月に完全子会社としましたZENIT INTERNATIONAL S.P.A.の連結業績への影響も織り込んでおります。

※億円未満切捨て

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期	増減	
			金額	%
売上高	62,629	68,058	5,429	8.7%
売上総利益	22,466	26,152		
販売費及び 一般管理費	13,525	15,901		
営業利益	8,941	10,251	1,310	14.6%
営業外収益	3,876	1,173		
営業外費用	179	932		
経常利益	12,638	10,492	△2,146	△17.0%
特別利益	247	2,082		
特別損失	732	461		
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,288	8,783	495	6.0%

Point

前連結会計年度において営業外収益
に為替差益2,625百万円を計上して
おりましたが、これまでの円安基調が
一段落し、当連結会計年度において
為替差損を446百万円計上したこと
等により10,492百万円と前連結会計
年度と比べ2,146百万円(17.0%)の
減益

参考 為替レート

対米ドル(円)	151.33	149.53
---------	--------	--------

(注)
直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

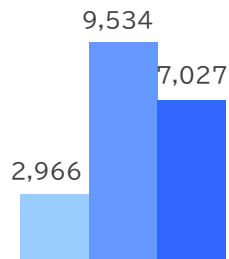
※()内は2024年3月期末からの増減

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

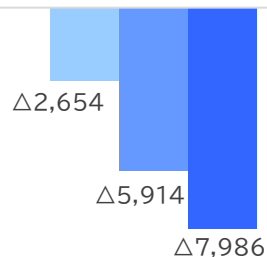
資産の部 131,509 (+16,158)	流動資産 81,657 (+8,624)	流動負債 25,828 (+10,727)	負債の部 35,656 (+10,501)
	固定資産 49,852 (+7,535)	固定負債 9,828 (△225)	
		自己資本 94,399 (+5,595)	
		非支配株主持分 1,452 (+62)	

自己資本比率 71.8%

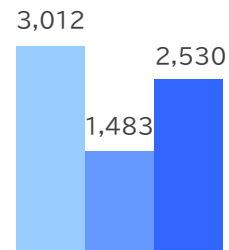
営業活動CF



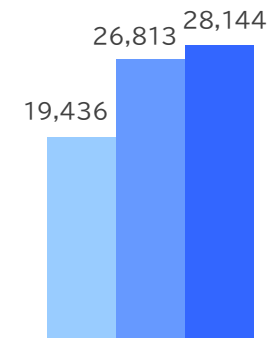
投資活動CF



財務活動CF



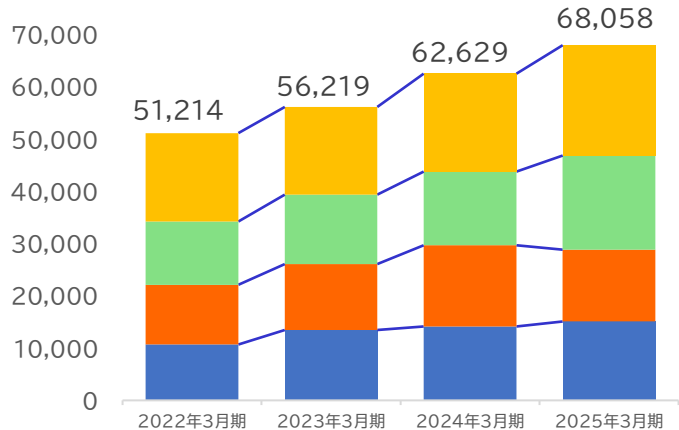
現金及び現金同等物の増減額



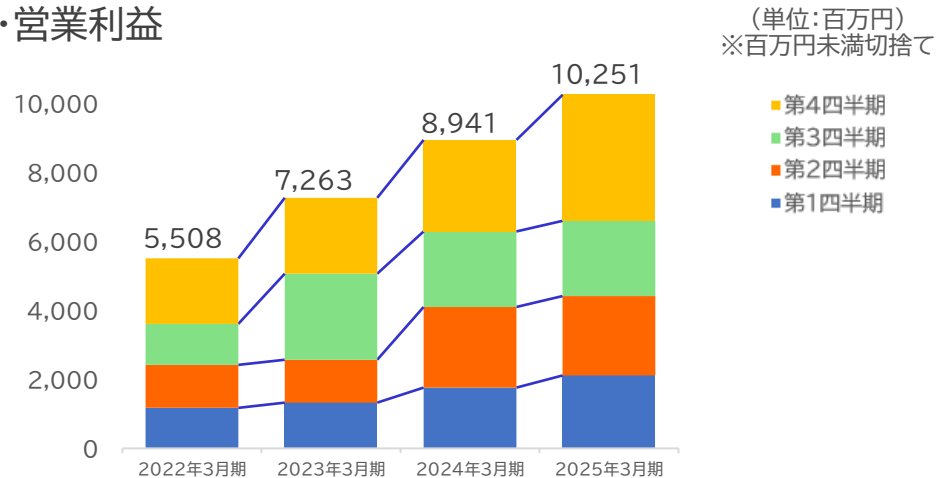
(単位:百万円)

■ 2023年3月期 累計 ■ 2024年3月期 累計 ■ 2025年3月期 累計

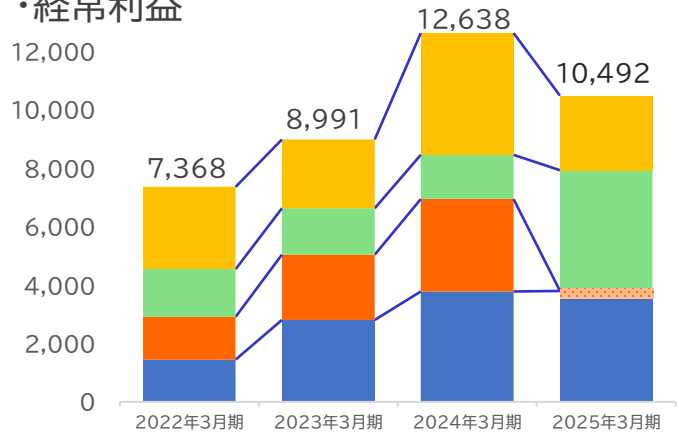
・売上高



・営業利益



・経常利益



Point

【参考】

2024年3月為替レート：151.33円
2025年3月為替レート：149.53円

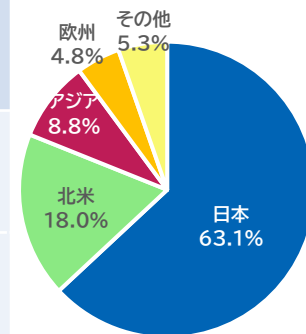
※第1四半期 3,801百万円、第2四半期 ▲82百万円

Point

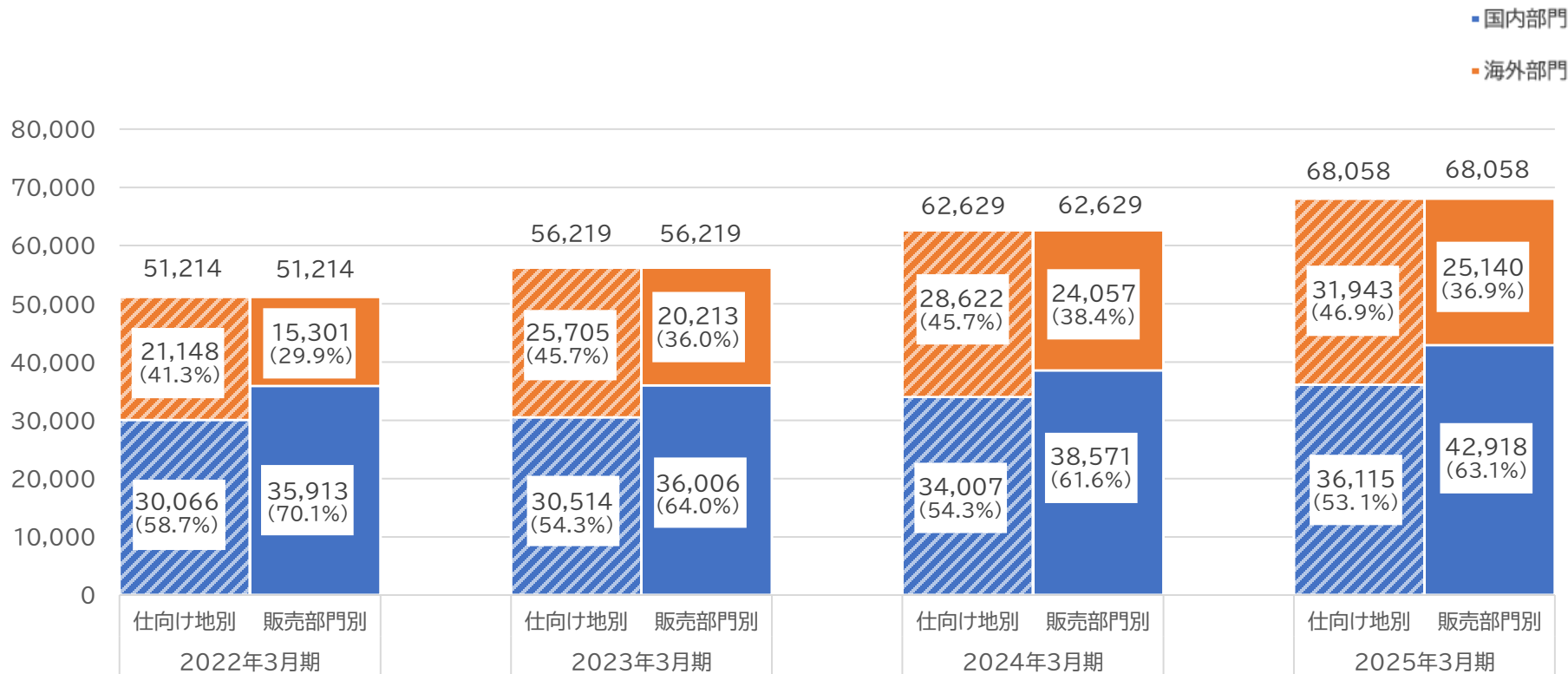
- 国内部門：売上高は増収、セグメント利益は増益
- 海外部門：北米地域：売上高は減収、セグメント利益は減益
アジア地域：売上高は増収、セグメント利益は増益
欧州地域：第3四半期連結会計期間より追加
その他地域：売上高は減収、セグメント利益は減益

(単位:百万円)	日本	北米	アジア	欧州	その他	調整額	合計
売上高 (前年増減率)	56,020 (+12.3%)	12,261 (△6.4%)	15,674 (+24.4%)	3,522	6,535 (△2.4%)	△25,956	68,058 (+7.0%)
外部顧客 への 売上高	42,918	12,261	5,988	3,255	3,634	—	68,058
内部 売上高 又は 振替高	13,101	—	9,686	267	2,900	△25,956	—
セグメント利益	7,723	1,370	1,788	204	802	△1,627	10,251
セグメント資産	77,463	14,600	18,517	13,334	8,371	△777	131,509

外部顧客への
売上高構成比



※百万円未満切捨て



(単位:百万円)

※仕向け地別 = 販売先の地域別の売上になります

※百万円未満切捨て

株式分割

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割。

株式分割の目的

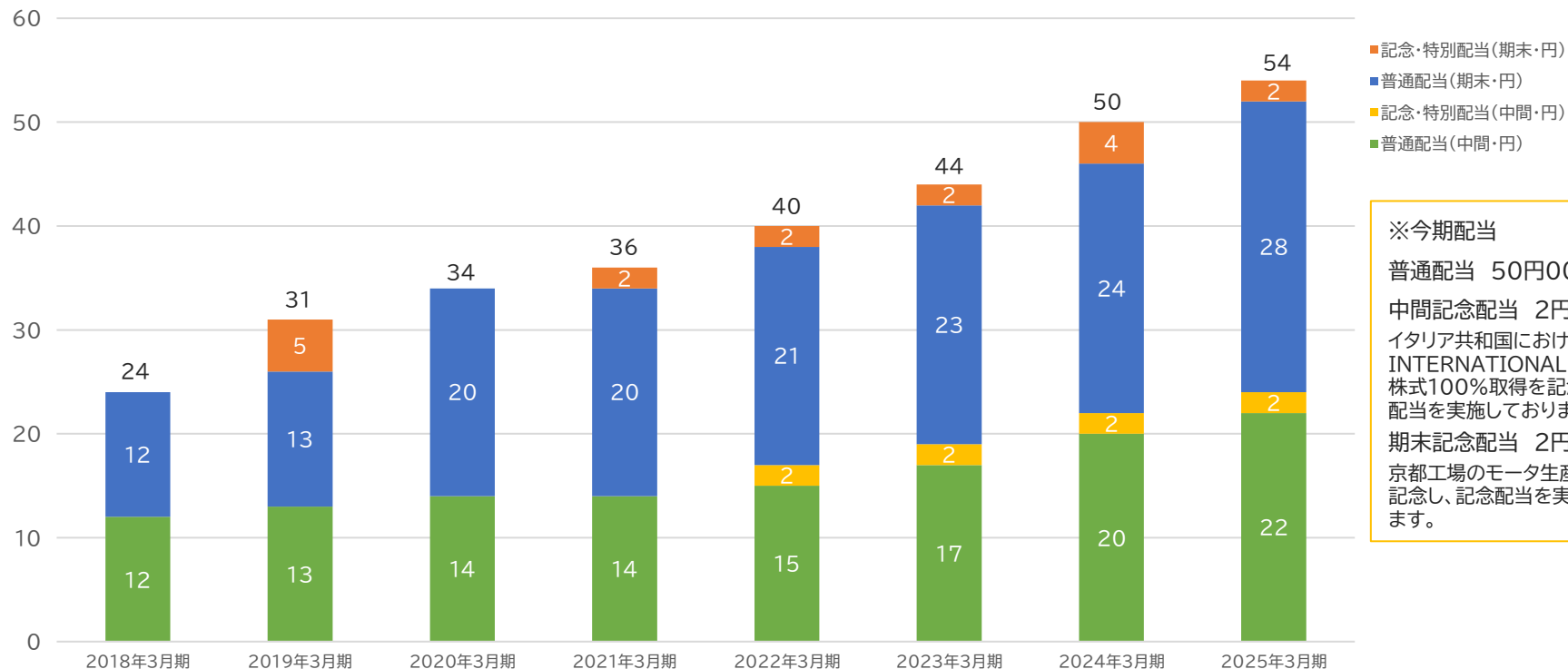
株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ること。

株式の流動性

2024年12月～2025年4月

	高値(円)	安値(円)	終値(円)	出来高(株)
5ヶ月の平均	3,330	3,235	3,276	23,461

現状 分析	<ul style="list-style-type: none">・ 資本コスト(WACC):現状6% ※CAPMベース・ ROE:10%・ ROIC:7.4%(水中ポンプ専業のため事業別ROIC未算出)・ ネットキャッシュ状態・自己資本比率が高い
方針 ・ 目標	<ul style="list-style-type: none">・ 連結営業利益率:10%以上・ ROE:10%以上・ 株主還元施策の実施・ 中期3ヶ年経営計画に基づく取組みの実行 <p>※詳細は経営計画ページを参照</p>
主な 取り組み	<div data-bbox="369 521 736 568">資本収益性向上の施策</div> <ul style="list-style-type: none">・ 最適資本構成を意識した有利子負債の更なる活用・ 主要部材の内製化による原価率の維持・低減と QCD の向上・ 付加価値の高い製商品の開発と市場占有率の向上 <div data-bbox="369 716 678 763">成長投資・BCP投資</div> <ul style="list-style-type: none">・ モータや鋳物部材の新製法による内製化推進・ 気候変動対策・省人化に対応した製品開発(スマッシュポンプ・水中うず巻斜流ポンプ)・ 太陽光発電・再生可能エネルギー活用 <div data-bbox="369 910 616 957">株主還元施策</div> <ul style="list-style-type: none">・ 累進配当方針(目標配当性向30%)・ 株式市場の動向を見定め、機動的に自己株式を取得



※今期配当
普通配当 50円00銭
中間記念配当 2円00銭
イタリア共和国におけるZENIT INTERNATIONAL S.P.A.の株式100%取得を記念し、記念配当を実施しております。
期末記念配当 2円00銭
京都工場のモータ生産棟竣工を記念し、記念配当を実施いたします。

安定配当の継続

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

注目製品

水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型

～驚きの通過性！～

他社にはない全く新しい構造のポンプ
吸込み口にスマッシュ機構を搭載！

①詰まりのリスクを大幅に低減

トラブル回避、省人化、コスト減

②高効率かつ省エネ

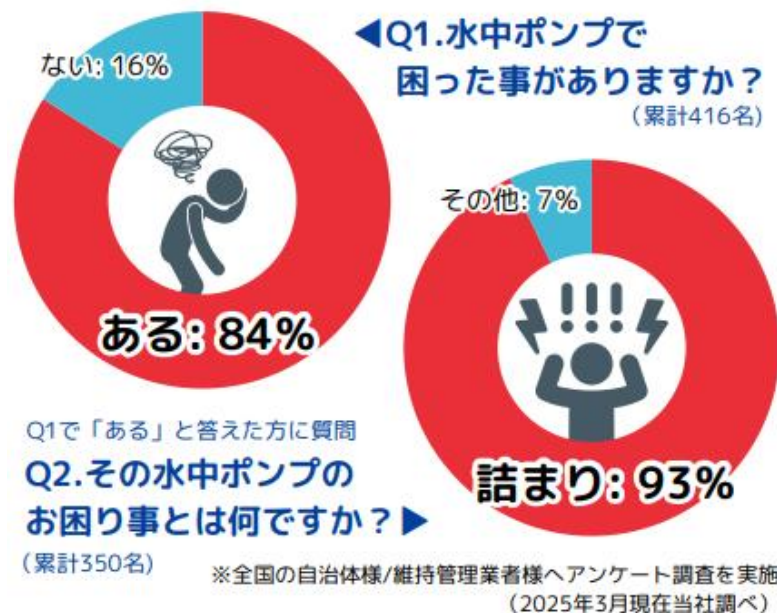
既設ポンプより低出力で選定可

③オイルリフター搭載

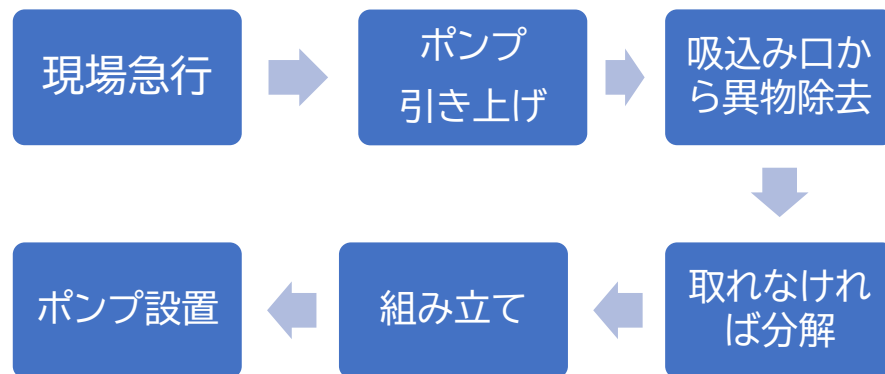
メカニカルシールの長寿命化



全国の自治体様・維持管理業者様 416名 に
アンケートを実施!!



【ポンプが詰まると…】

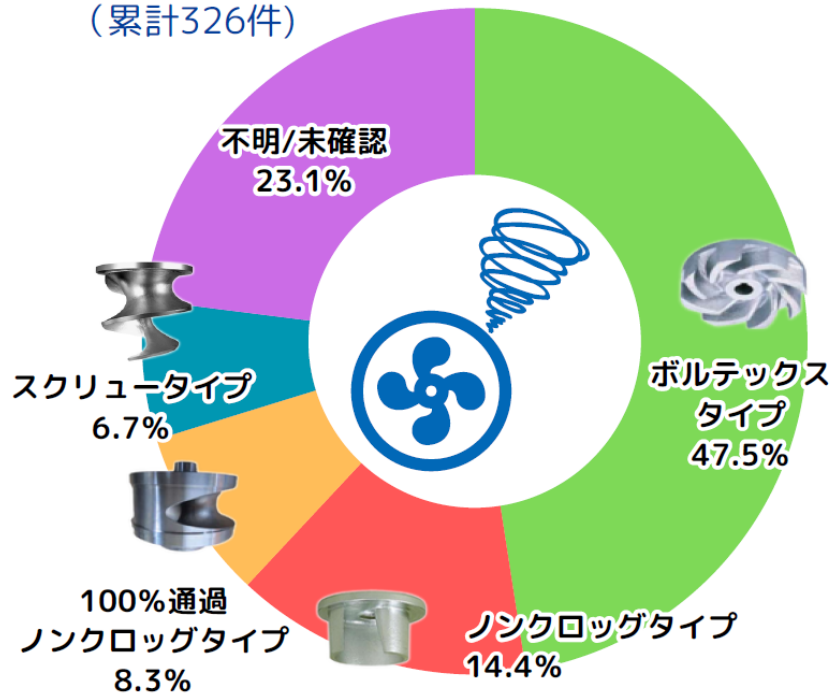


下水道:生活排水は止まりません!
⇒汚水汚物が溢れることとなります。

民間工場:工場の稼働が止まることも。

【実際のポンプ内部での詰まり】

詰まりが発生したポンプの羽根車タイプ▼
(累計326件)

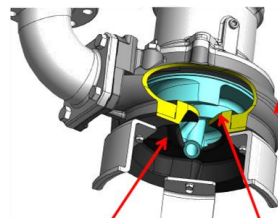


【水中ノンクログ型 スマッシュポンプBN型の機構】

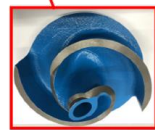
POINT 2 羽根車(ブレード部)

サクシオンカバーの突起部との接点により、異物をポンプ内部へ押し込みます。

ケーシング
FC250



サクシオンカバー
FC500



羽根車
FC500

POINT 1 サクシオンカバー

独自の形状(突起部)により、異物が羽根車入口にからみつくの抑制します。

POINT 3 羽根車(ボス部)

先端部の傾斜により、異物が吸込み部に滞留するのを抑制します。



【納入事例集】

**水中ノンクログ型スマッシュポンプの導入で
大幅な省人化を実現！
実際の導入効果を自治体様・維持管理者様に
直接訪問インタビュー！**



多摩川上流水再生センター(東京都)は東京都下水道局が管理する下水処理施設です。臨海市・青川市・鎌倉市・瑞穂町の大部分と、立川市・武蔵野市・奥多摩郡の一部の下水を処理して、多摩川へ放流しています。また、同センターは浄化した水を更に砂ろ過した後、ポンプ処理を行い、野火止用水や玉川上水、千川上水といった歴史ある清流へ送水することで、地域住民の憩いの場づくにも貢献しています。

大量のし渣流入で毎日発生する水中ポンプの詰まりに悩まされていた。

Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型を導入する前に、実施で抱えていた課題を教えてください。

「水再生の最終処理工程で、し渣をろ過後回収します。回収されたし渣は他のセンターではベルトコンベアで送るのが主流ですが、当センターには水と一緒にし渣を送るラインがあるため、そこに中ポンプが必要となります。その水中ポンプが大量のし渣によって稼働間わずに詰まり詰まりを発生させることが当施設では課題になっていました。」



▲多摩川上流水再生センターの設備

「施設ポンプは羽根車のタイプをボルトレスタイプからノンクログタイプに変えてみたり、ポンプケーシングを特注して吸込み口を広くしたり、色々試しましたがどれも上手くいきませんでした。詰まるたびにポンプケーシングを分解するからボルト穴も詰まっちゃって、その度にタップを立てて修理していく...ケーシング自体日外すにははやっていないのでしょうね。修理しただけでまたケーシングを交換していました。交互運転の料方が詰まりながらも1台は必ず動かさなきゃいけない。修理は止められないんです。」



導入コストを抑えながら、現場の負担を大幅に削減成功！！

Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型を導入頂いた経緯を教えてください。

「し渣詰まりの課題を解決するために、色々な対策を考えていました。そんな時に水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型のお話を伺ったんです。既設の電機装置がそのまま使えて、電機機の改造も要らない。導入コストがかなり抑えることが出来たんです。」



同様の課題で困っている現場に、是非お勧めしたい水中ポンプ！！

Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型を導入するにあたって、是非お勧めしたい理由を教えてください。

「今回の導入はとも良かったと思うのですが、他に困っているところがあれば助めたいですね。「つまらないものもあるよー！」って(笑)」



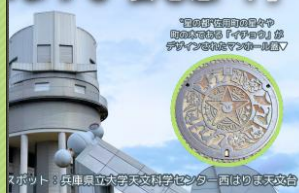
Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型の導入で感じた大きなメリットは何でしたか？

「人手が掛かなくなったのが大きいんです。夜勤明けに警報が鳴って詰まりを取りにいくこともありません。昼休憩もなく自動で夜勤者も対応していたので、水中ノンクログ型スマッシュポンプに変えてからは手間が大幅に削減され、他の業務に充てられるようになって、みんな助かっています。」



多摩川上流水再生センターの皆様
お忙しい中快く取材にご協力頂き
誠にありがとうございました！

一番のメリットは
「よりも“安心感”！」



に位置し、深い山に開けられながらも山陰山陽の各地と繋がる交通網(幹線)をはじめ、多くの支路や歴史の建造物を今に伝える一方、空の爽し明として知られています。今回はそんな活用で長年、ご多忙を察していただき「使用公衆衛生社」様にお話を伺いました。

ンプ詰まり。コロナ禍では更に増加傾向に。

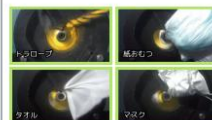


「大きな幹線(下水道)でポンプの詰まりが発生した場合には、すぐに駆けつけて対応しないと下水が溢れる危険性があるって、それが毎月数回は昼間夜間が発生していました。4時間毎65日、常に警報を鳴らして心休まらな。それが何よりの負担になっていました。マンホールでの作業自体も危険な仕事ですから、それが頻発に発生すると作業員への心配事も増えます。」

▲マンホールポンプ稼働時の内部イメージ

Q.在りては水中ノンクログ型スマッシュポンプが売られてから、かなり早い時期に導入を決めました。ご採用頂いた経緯を教えてください。

「コロナ禍の中で、下水に流入するマスクや洗浄シートによるポンプの詰まりトラブルが、以前より多く発生するようになった。従来型だと詰まりやすかった。対策を検討していた時、ツルミの担当者の方から、水中ノンクログ型スマッシュポンプの通過試験の動画を拝見してもらったことがきっかけです。マスクやゴム手袋などをスムーズに吸込んでいく映像は衝撃的で、そのままだけ設備担当者へ導入を提案し、すぐに採用となりました。」



導入によって得られた一番のメリットは、なによりも『安心感』！！

Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプを導入した中で一番のメリットは何でしたか？

「なによりも『安心感』です。これは本当にありがたいです。水中ノンクログ型スマッシュポンプに更新して年近く経過しましたが、いまだにトラブルはゼロです。費用や時間の削減も大きいですが、休日や夜間に呼ばれることが無くなって『安心感』を手に入れることができました。」



Q.水中ノンクログ型スマッシュポンプの導入を検討している方へのアドバイスがあればお聞かせください。

「この水中ノンクログ型スマッシュポンプには本当に驚かされました。詰まる心配ももちろん、運転時間も短くて、この性能のわりに価格も安い。着脱装置のオプションも製作できるから他社製品と変わらず短期間で、詰まりの問題を抱えているのであれば、この水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型への入替を検討おすすめします。」

佐用公衆衛生社のお二方
お忙しい中快く取材にご協力頂き
誠にありがとうございました！

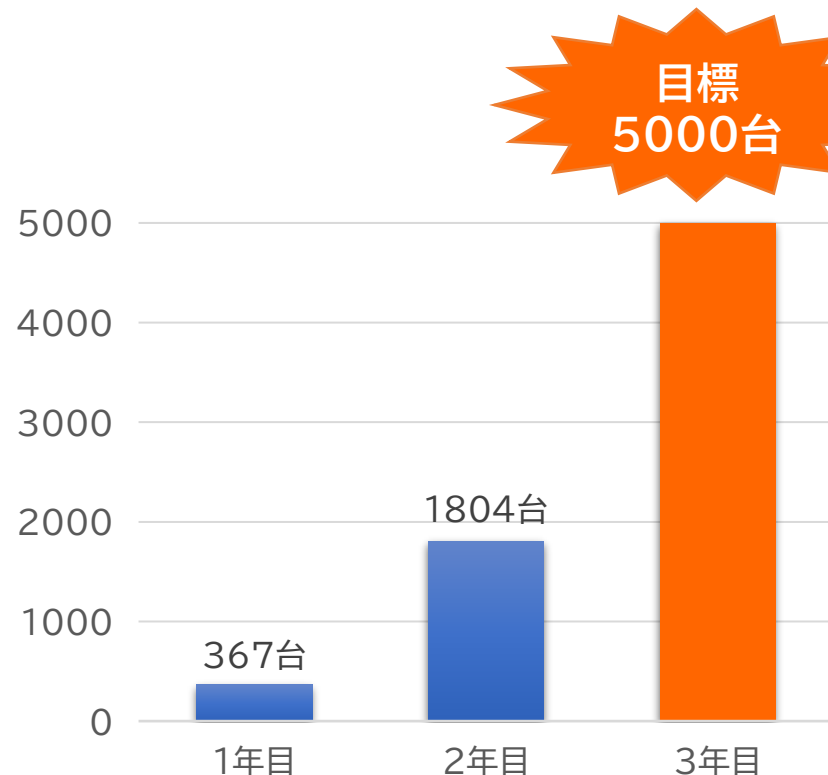


【納入実績】

- ・東京都下水道局
- ・横浜市下水道局
- ・札幌市役所
- ・神戸市建設局河川課
- ・名古屋市役所
- ・金沢市役所
- ・沖縄市上下水道局下水道課

その他 212市町村
453企業に導入

【販売台数推移】



INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- **真空ポンプ 大型案件受注実績**
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

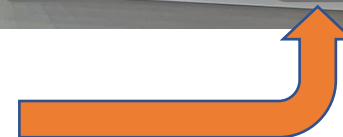
製品名：真空ポンプ・圧縮機

台数：計12ユニット（7機種）

※塩ビ配管や車のシート、壁紙や食品サンプル

など世の中のあらゆる製品になる原料を

製造するプラントとなります。



ポンプ口径：600 mm

モータ出力：500 kW

台数：2台

全長 / 質量：8.4 m / 32 t

吸込圧力：18.8 kPa(A)

吸込ガス量：275 m³/min (1台当り)



ポンプ口径：300 mm

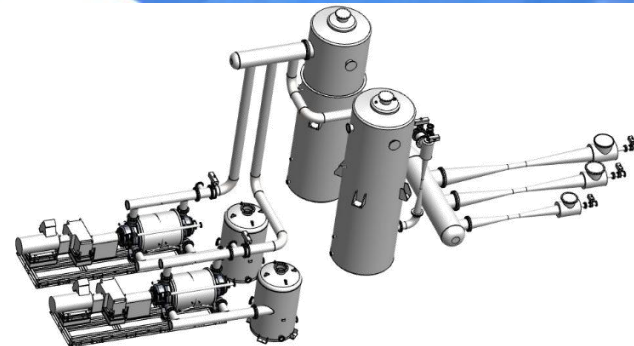
モータ出力：250 kW

台数：2台

全長 / 質量：6.3 m / 12 t

吸込圧力：15.84 kPa(A)

吸込ガス量：143.45 m³/min (1台当り)



ポンプ口径：200 mm

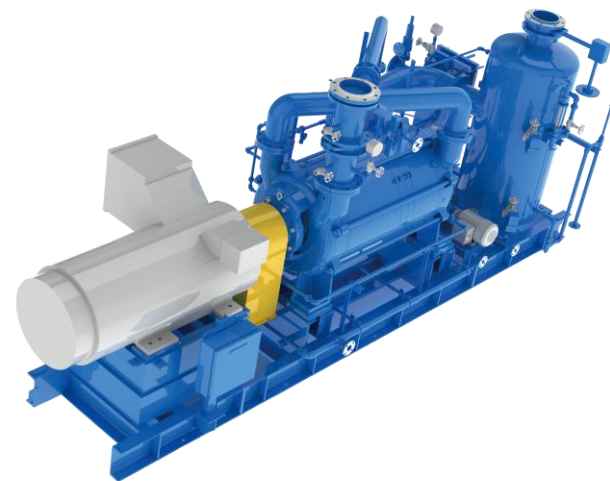
モータ出力：110 kW

台数：8台

全長 / 質量：5.8 m / 8 t

吸込圧力：3.39 kPa(A)

吸込ガス量：25 SCFM (1台当り)



INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

施設名：鳥羽水環境保全センター 第2東ポンプ場

事業者：京都市上下水道局

受注金額：8億700万円

【納入機器】

- ・立軸斜流ポンプ(2床式) $\phi 1800\text{mm} \times 460\text{m}^3 \times 17\text{m}$
- ・原動機(水冷式ディーゼル機関) 1760kW

【事業紹介】

京都市最大規模の下水処理場(処理能力954,000 m^3 /日)に設置された雨水ポンプ11台(総排水量4,800 m^3 /分)のうち1台を更新しました。近年の気候変動の影響とされる記録的な台風や想定を超える降雨が頻発し、河川の氾濫や浸水による深刻な被害が発生しております。一方で被害を軽減するためのポンプ施設は老朽化により、適切な維持管理や更新の実施が求められております。ツルミではポンプの製造・据付を通じ、「社会インフラ整備や災害対策に、堅牢で信頼性の高い製品・ソリューションを提供することにより、誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に貢献していきます。



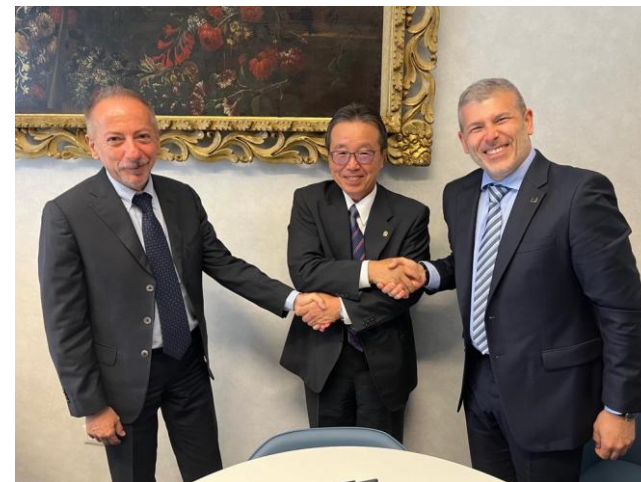
INDEX

目次

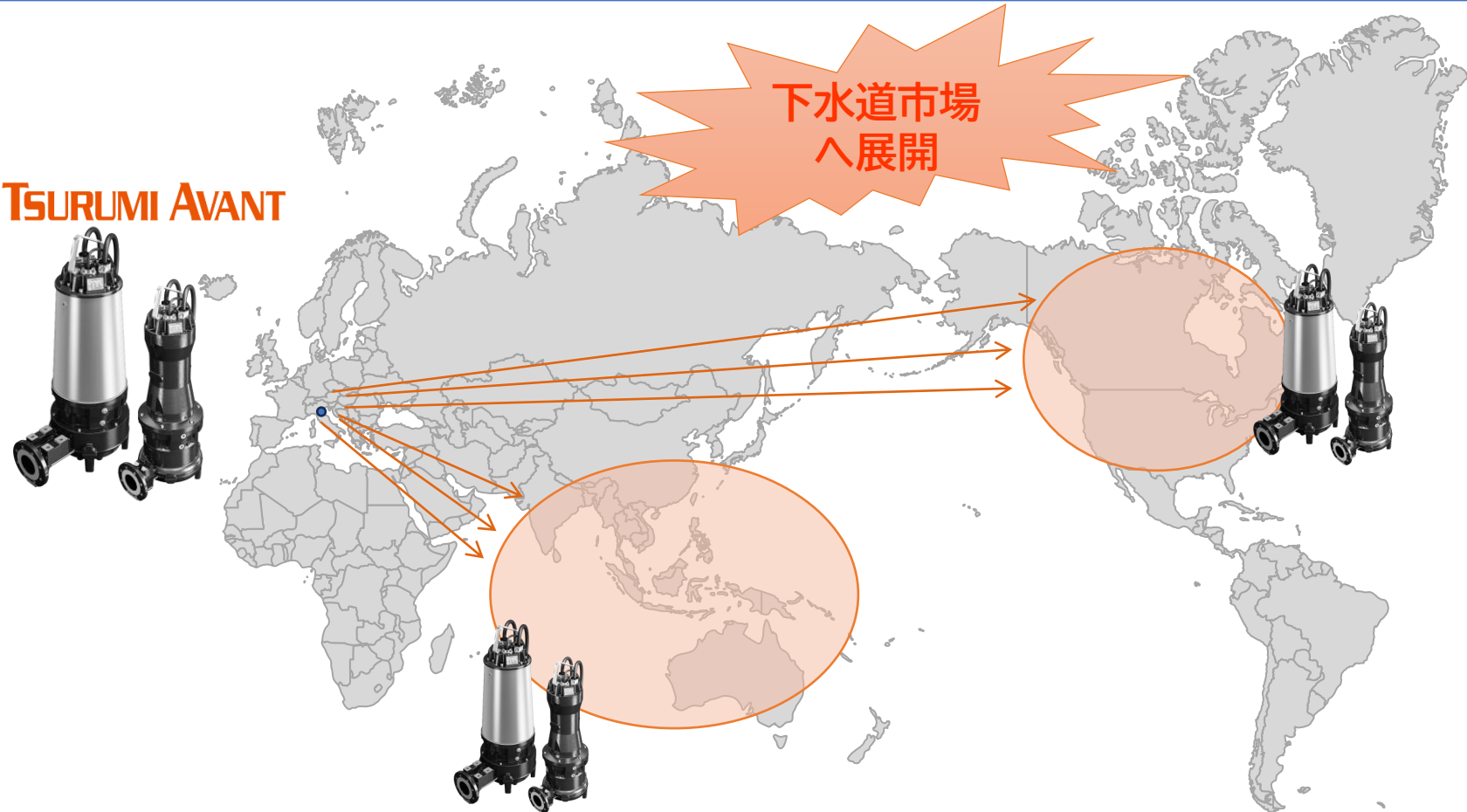
- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- **ZENIT社の完全子会社化**
- 京都工場モータ生産棟竣工

今後の展開

- ・ツルミグループとして、鉱山・建設関連市場に加え、欧米の下水道市場にも営業展開
- ・各市場に対応可能な製品ラインナップを整備
- ・グローバル戦略による、経営基盤の強化



TSURUMI AVANT



INDEX

目次

- 決算の概要
- 注目製品_水中ノンクログ型スマッシュポンプBN型
- 真空ポンプ 大型案件受注実績
- 大型ポンプ 納入実績
- ZENIT社の完全子会社化
- 京都工場モータ生産棟竣工

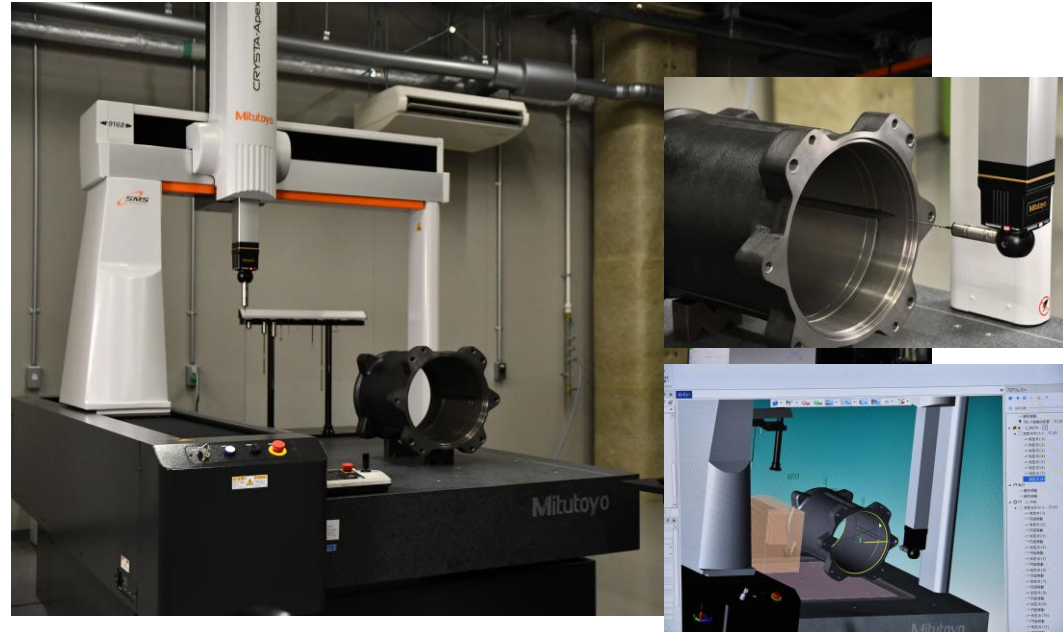
名称	京都工場 モータ生産棟
所在地	京都府八幡市上奈良長池1-1 (京都工場敷地内)
面積	敷地面積:16,370m ² 延べ床面積:13,082m ²
竣工日	2024年9月30日
設備投資額	80億円
生産設備	・0.4~350kWの水中モータ組立設備 ・モータ部品の加工設備(FMS)



検査エリア

【主な新規導入設備】

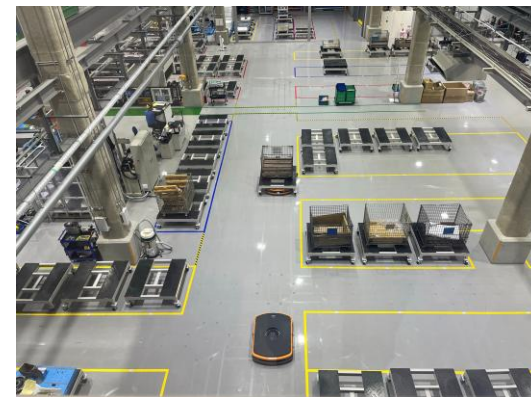
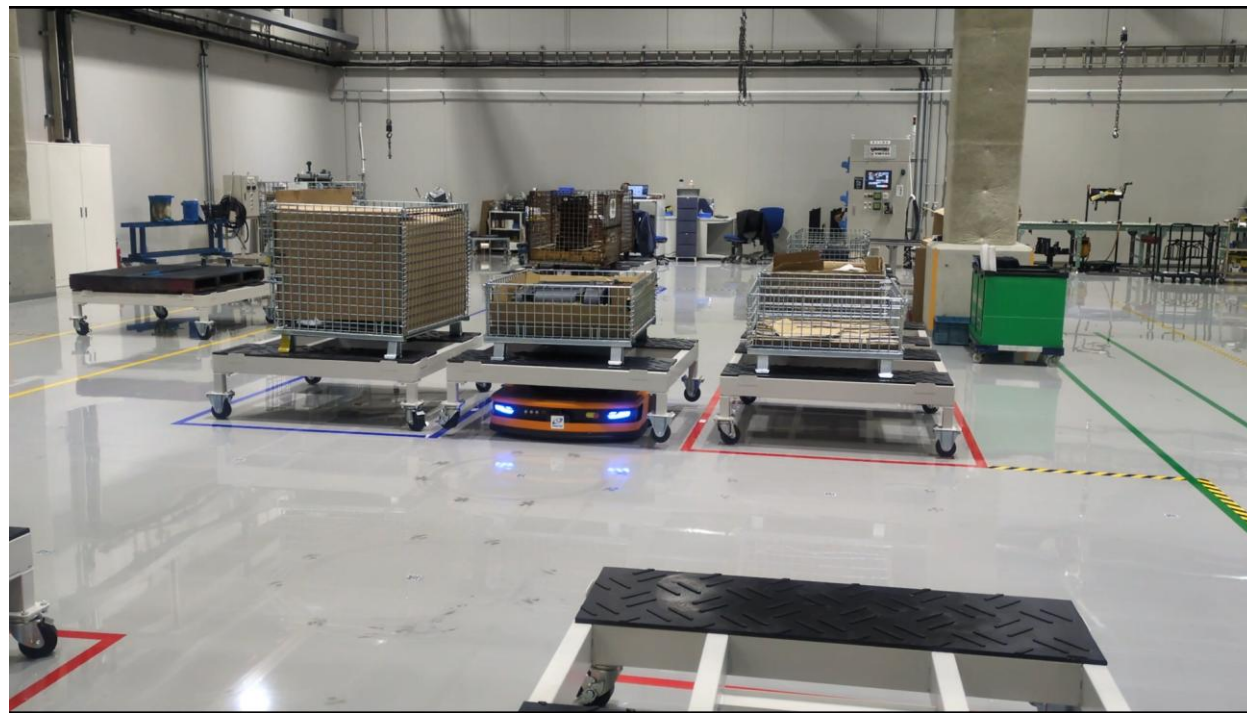
- **ポンプ性能試験設備** : 京都工場で生産する全てのポンプの性能試験が可能(既存工場の試験設備とあわせて試験能力は1.5倍) 電源は4系統あり、口径350mm以下のポンプを同時に4台の性能試験が可能。
- **高精度CNC三次元測定機** : 高い加工精度が要求されるモータ内製化に伴い導入。 3D-CADデータに基づいた寸法・形状公差の自動計測を実施。



モータエリア

【主な新規導入設備】

- QRグリッド式 AGV(自動搬送車) : 物流や製造業における無人化で効率的な部品・完成品の移動を実現。
QRコードを利用した自律走行型の搬送車両であり、専用架台にパレット及びパレティーナを乗せ、モータ部材・モータ完成品を生産ライン等へ運搬。



巻線エリア

モータ内製化のため、モータ生産エリアを大幅に拡張。

2.2～75 kWのステータ巻線作業を実施。

これまで外注に頼っていたモータ巻線を社内にて取込み、まずは年間2,500台の生産体制構築を目指す。

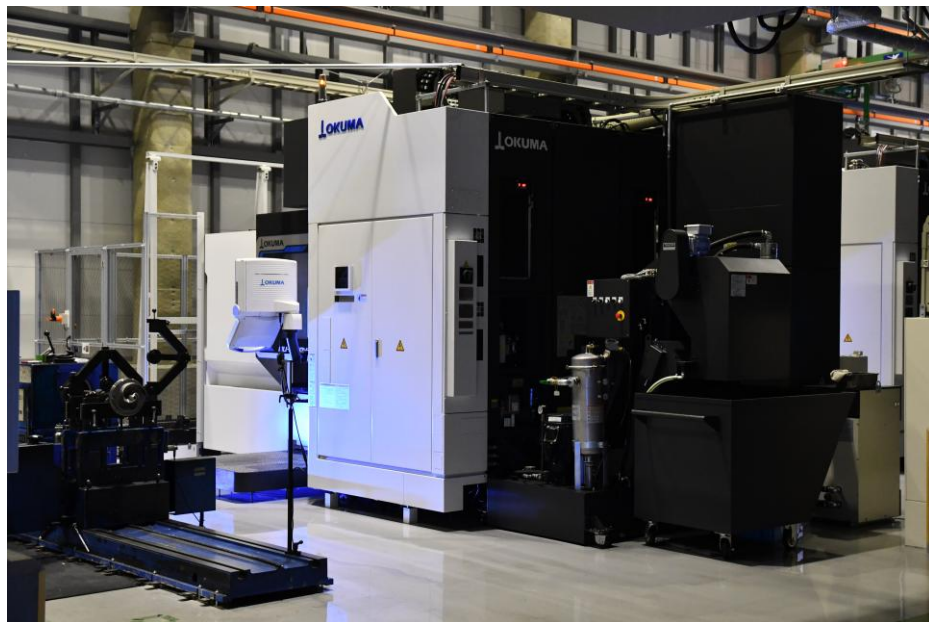
また、ベトナム人の巻線作業者の育成を実施することで、将来ベトナム工場で活躍する人材輩出に寄与する。



加工エリア

【主な新規導入設備】

- **FMSシステム 2基** : 工作機械、搬送装置、倉庫を結合したFMSにより、モータ部材の多品種少量生産を実施する。24時間の無人運転が可能。 ※FMS:Flexible Manufacturing System



加工エリア

【主な新規導入設備】

- **シャフト加工設備** : モータの主要部材であるシャフトの旋削加工・高周波焼入れ・研磨加工の一連の工程を2台のロボットを使用して自動化。完成したシャフトは、高周波加熱装置を使用してロータ焼嵌めを実施。



免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 広報・IRチーム

TEL:06-6911-2351

Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp